

# ハード交付金の活用事業

(沖縄県事業)

## 竹富町立竹富診療所 (へき地診療所施設整備事業)

竹富町立竹富診療所は、診療所と医師住宅が併設されていたが、築32年が経過していることから老朽化が著しかった。

このため、県は診療所と医師住宅施設整備を行う竹富町に対し補助を行うことにより、離島へき地における安定的な医療の確保を図った。

- 総事業費 0.8億円 (うち国費0.2億円)  
うち、ハード交付金0.3億円 (うち国費0.1億円)  
※全て「へき地診療所施設整備事業」

- 事業期間：平成23年度から平成25年度



## 竹富町立黒島診療所 (へき地診療所施設整備事業)

竹富町立黒島診療所は、診療所と医師住宅が併設されていたが、築30年が経過していた施設は老朽化が著しかった。

このため、県は診療所と医師住宅施設整備を行う竹富町に対し補助を行うことにより、離島へき地における安定的な医療の確保を図った。

- 総事業費 1億円 (うち国費0.2億円)
- 事業期間：平成25年度から平成26年度



# ハード交付金の活用事業

(沖縄県事業)

## 沖縄中央病院 (医療施設耐震整備事業)

沖縄中央病院は耐震診断の結果、震度6強程度の地震により倒壊又は崩壊する危険性が高かった。

このため、県は耐震補強工事に要する経費を補助することにより、震災後も安定した医療を提供できる体制の確保を図った。

- 総事業費 3億円 (うち国費2億円)
- 事業期間：平成27年度



## 中頭病院 (沖縄医療施設等施設整備事業)

中頭病院は開院後34年が経過しており、施設の老朽化及び療養環境面の改善を図る必要があり、移転新築を計画した。

このため、県は移転新築に要する経費を補助することにより、病院の療養環境や医療従事者の職場環境等を改善し、中部地域の安定的な医療の確保を図った。

- 総事業費 74億円 (うち国費11億円)
- 事業期間：平成27年度



# ハード交付金の活用事業

(沖縄県事業)

## 県立八重山病院 (医療施設等施設整備事業) (医療提供体制施設整備事業)

施設の老朽化が著しく、また敷地が狭隘なため十分な医療機能の提供が困難となっている県立八重山病院の新築移転が必要なため、旧石垣空港跡地に新たに建設を行っている。

これにより、医療提供確保や医療環境等の向上を図り、離島における定住条件の整備に寄与する。

- 総事業費 100億円 (うち国費31億円)
- 事業期間：平成27年度から平成29年度まで

